



心の目のレンズをしっかりと磨くために

「星の王子さま」(サン＝テグジュペリ著)の本の中に「肝心なことは、目に見えないんだよ」という名言があります。これは、故郷の星を離れ地球にやってきた王子さまが出会ったキツネとの触れ合いの中で、キツネが王子さまにプレゼントする言葉です。「目の前の現実だけでなく、その奥底や背景に潜む「真実」を見る目を養いなさい。」という意味かもしれません。

ちょっとニュアンスは違いますが、人間には「予期しないものは見えない」つまり「注意の錯覚」というものがあります。人間は「ひとつのことに気をとられていると、目の前で起きていることでも見えないことがある」ということです。心理学でも有名な「見えないゴリラ」の例を紹介します。

二つのチームに分かれ、人が動き回ってバスケットのボールをパスするという短いフィルムを制作しました。一つのチームは白シャツ、もう一チームには黒シャツを着てもらいました。

実験の参加者にビデオを見せ、白シャツの選手がパスをする回数を数えてもらい、黒シャツの選手のパスは無視するように話しました。ビデオが終わった直後に、参加者は自分が数えたパスの回数を答えました。正しい答えは34回か35回ですが、実験の目的はパスの回数ではなかったのです。

実は、このビデオの途中で、ゴリラの着ぐるみを着た女子学生が登場し、選手のあいだに入り込み、カメラの方に向かって胸をたたき、そのまま立ち去っていたのです。画面上には約9秒映っていました。

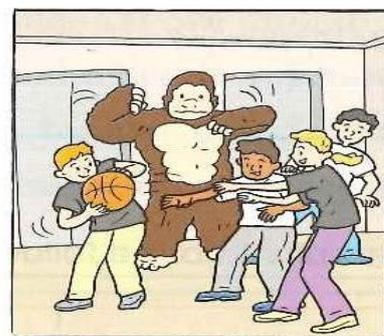
参加者に、パスの回数を尋ねた後に、ゴリラのことを尋ねたら、驚いたことに、およそ半数の参加者がゴリラに気づかなかったのです。

これは、バスケットのボールをパスしている映像に、ゴリラが映り込むと予想する人はまずいません。そんな思い込みから、ゴリラというものを脳が認知することをシャットダウンしてしまった結果なのです。

この見落としは、予期しないものに対する注意力の欠如から起こります。科学的には、「注意の錯覚」と呼ばれています。ゴリラが見えないのは、視力に問題があるわけではありません。目に見える世界のある一部や要素に注意を集中させているとき、人は予期しないものに気づきにくいのです。

これらのようなことは、私たちの日常生活にも思い当たらないでしょうか。例えば、子どものしたことで、「なんでそんなことをしたの」と、しかろうとしたとき、少し待って見つめ直してみると、その時の子どもの本当の姿が見えてくるのではないのでしょうか。

「見えなかったものが見えるようなものの見方」少しでもそれに近づけるよう、大人の私たちが努力することで、今度は子どもたちもそんな見方で人に接することができるようになるはずです。私たち親や教師は、心の目のレンズをしっかりと磨きたいものですね。



なわとび記録会 入賞おめでとう！

【6年】

	二重跳び	記録		後ろ交差	記録
1位	安齋 朴音	120	1位	薄井 梨咲	168
2位	矢内 凜一	103	2位	大竹 奏里	156
3位	羽田 紫音	100	3位	平原 由唯	155
	大竹 奏里		4位	山寺 優成	148
5位	薄井 梨咲	99	5位	高橋 心優	136

【5年】

	二重跳び	記録		交差跳び	記録
1位	箭内 理葉	113	1位	池島 祐奈	145
2位	渡部 奈々	97	2位	渡部 奈々	143
3位	舞木 瀬愛	96	3位	須田 琴菜	141
4位	熊田 愛音	94	4位	箭内 理葉	137
5位	池島 祐奈	92		鈴木 琉那	

【4年】

	二重跳び	記録		後ろあや跳び	記録
1位	瀧川 漸	106	1位	平原 真緒	99
2位	齋藤 美希	96	2位	井上 知優	87
3位	伊藤 滯	94	3位	齋藤 美希	76
	菅原 萌南		4位	古市陽菜子	73
5位	井上 知優	83	5位	今野 結奈	72

【3年】

	前あや跳び	記録		後ろあや跳び	記録
1位	矢内 有彩	87	1位	村越 真弥	80
2位	熊田 結衣	83	2位	矢内 有彩	79
3位	伊藤 幹太	80	3位	佐久間 結月	70
4位	鈴木 拓磨	79	4位	石堂 夏帆	66
	岩本 茉紘		5位	鈴木 杏梨	63
	渡部 悠斗				

【2年】

	前あや跳び	記録		後ろ跳び	記録
1位	小林 璃子	86	1位	武田 優那	187
2位	瀧川 桜季	84	2位	星 智英理	180
3位	阿部愛莉夏	80	3位	池島 怜奈	167
4位	薄井 佑	77		薄井 佑	
5位	和田 光佑	76	5位	岩本 涼雅	165
	吉田 結名			国井 未来	

【1年】

	後ろ跳び	記録		かけ足跳び	記録
1位	藤田 一亜	129	1位	梅津理紗子	172
2位	山寺 咲翠	120	2位	原 万平	149
3位	原 万平	119	3位	石山 莉帆	143
4位	石山 莉帆	116	4位	嘉齊 斗亜	130
5位	嘉齊 斗亜	113	5位	小野 光生	125

他に、全学年が前跳びの持久跳びも行っています。こちらは、人数が多いので割愛させていただきます。

温かい応援ありがとうございました。残念ながら入賞できなかった子どもたちも、日々一生懸命がんばっていました。

団体の部 長縄跳び（3分間）

【6年】

1組 281回 2組 186組
3組 298回（全校トップ）

【5年】

1組 289回 2組 188回

【4年】

1組 142回 2組 162回

【3年】

1組 111回 2組 143回

【2年】

1組 215回 2組 169回
3組 177回

【1年】

1組 92回 2組 94回
3組 93回



全力を出し尽くした6年生

自己記録更新

6年2組 菅原まひる
最初は、まじめにやらないこともありましたが、なわとびや長なわを、だんだん自分たちの悪いところを指摘し合ったり、みんなで励まし合ったり、とび方を教えてくれたりして、だんだん跳べるようになりました。

個人競技では、後ろ交差跳びで、自己新記録を更新することができました。これまで64回だったのが、112回という48回も伸びた記録でした。とってもうれしかったです。

中学校へ行っても、このことを忘れず、いろんなことにがんばりたいと思います。



みんなが気持ちを一つにした長縄跳び